

大使館からのお知らせ
～ウッドヒル・ゴルフエステート内における強盗殺人事件の発生について～

1 発生日時

2015年 3月 7日（金）早朝

2 発生場所

ツワネ市プレトリア東部、プレトリアスパーク地区、ウッドヒル・ゴルフエステート内所在の家屋

3 事件概要

7日早朝、けん銃を所持した強盗犯2人組が、上記エステート内所在の家屋に侵入し、家人（夫婦2人）を緊縛した。犯人が金品を物色中、被害者の一人（男性）は自力で縄を解き、犯人の一人を制圧しようと格闘に及んだが、けん銃で撃たれ死亡したもの。その後の捜査で、被害品は携帯電話1台のみであることが判明した。現在、警察では逃走した犯人の行方を追うとともに、同エステート内の侵入経路等について詳しく捜査している。

4 参考

上記エステートの南西方約3kmに位置するモレタパーク地区においては、今年1月にけん銃使用（2発発砲）によるカージャック未遂事案が発生している。本事案は、1月22日午前8持ころ、モレタパーク地区内の交差点（Cnr. Rubenstein and Helois）において発生したもので、犯人（4～5人）は、白色BMWに乗車していた。

5 防犯意識の向上

- (1) 南ア国内の犯罪統計によれば、殺人、強盗、傷害、性犯罪等の身体に直接係わる凶悪犯罪は、常に高い比率で推移しています。特にこの5年間は、社会不満が増大した結果、総じて暴力的な犯罪の発生率が高くなっていると分析されています。上記事案に見られるとおり、殺人、強盗等の凶悪犯罪の発生は、もはや夜間帯に限られたものではなく、時間帯、場所、ターゲットにかかわらずランダムに発生しているのが現状です。こうした犯罪事情を踏まえ、外出時には常に周囲に気を配り、追尾してくる車両はないか、交差点等で停車した際に不審者が近付いてくる様子はないか、帰宅時に自宅近くに不審な駐車車両はないかなど、日頃から防犯意識を高めるよう心掛けてください。
- (2) 上記強盗殺人事件が発生したゴルフエステート内所在の家屋は、バーグラバーなどの物的警備対策が講じられていませんでした。これは景観上の規制等に因るものですが、上述した犯罪事情を考えれば、バーグラバーのみならず、エレクトリックフェンスやアラーム式センサーを設置する必要性は増々高くなっていると言えます。こうした警備措置を講じるには相応の費用を要しますが、南ア国内で生活する上での必要経費であると妥協することが大切です。また、外観から少なくとも隣家（近隣住宅）よりは物的警備対策が施されているように見せる工夫も必要です。この際に、改めて住居防犯について見直してみてください。

（了）